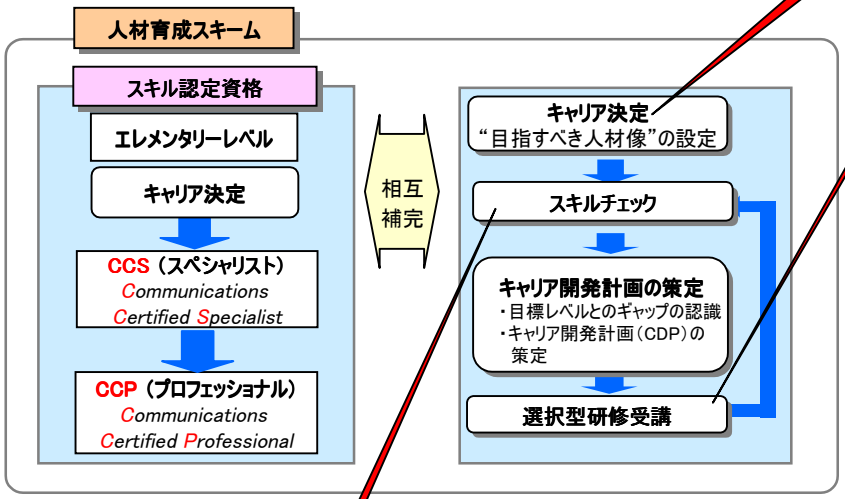
4. 情報セキュリティ人材育成のあり方

1. 全社人材育成スキームに基づく情報セキュリティエンジニア育成

情報セキュリティエンジニアに関する「目指すべき人物像」の設定



スキルチェック対象項目

コアスキル	専門スキル発揮のベースとなり、全社員共通に求められるヒューマンスキル （9項目）		
Product & Service ナレッジ	各キャリアで必要とするビジネスと業務遂行に直結したテクニカルスキル（10～15項目選択）	ビジネススキル	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ、調査・統計 等
		SI	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ 等
		IPコア技術	LAN技術、WAN技術 等
		IP応用技術	DB構築・管理、ﾐﾄﾞﾙｳｪｱ 等
		NW技術	伝送技術、交換技術 等
		スタッフ機能別	経営企画、財務、人事 等
社外資格	各キャリアで必要とする資格	・マイクロソフト認定資格 ・シスコ認定資格 ・テクニカルエンジニア試験 等	

各項目毎にレベル設定

選択型研修コースにおける情報セキュリティ関連コースの充実

	レベル2	レベル3	レベル4
IPコア技術	◆◆◆◆	◆◆	◆◆◆◆
IP応用技術	-	◆	-
システムインテグレーション	-	◆	-
社外資格（情報セキュリティアドミニストレータ）	-	◆◆	-
情報セキュリティマネジメント	◆◆	◆◆	◆◆

（◆：既存コース，◆：新設コース）

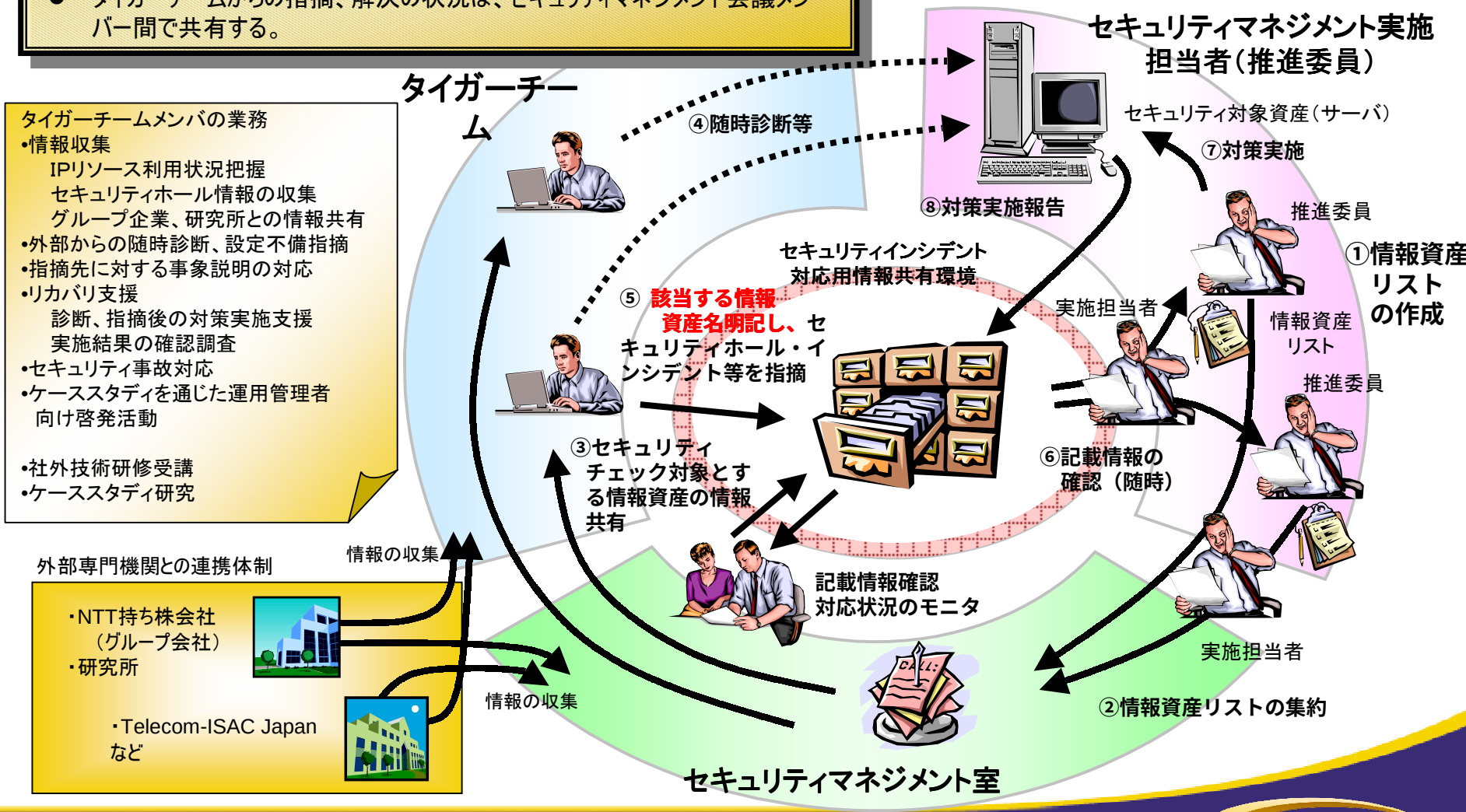
2. 高度スキルを持つセキュリティエンジニアの育成

■高度な最先端のセキュリティ技術を有し、トータルな観点から施策を 実施・管理できる人材 [レベル5相当] の育成

■タイガーチーム（後述）メンバーとしてのOJTを通じたスキルアップ

5. セキュリティインシデント対応用情報共有環境のイメージ

- タイガーチームはセキュリティの高度な技術的専門性を有し、脆弱性の発見とセキュリティ問題の解決に対してSM室の指示に基づき実施する役割を担う。
- セキュリティマネジメント実施担当者は、タイガーチームからうけたセキュリティ上の問題点指摘に対処する。
- タイガーチームからの指摘、解決の状況は、セキュリティマネジメント会議メンバー間で共有する。



6.Telecom-ISAC Japan*の紹介 *Telecom Information Sharing and Analysis Center Japan

- インシデント情報共有・分析センター（Telecom-ISAC JAPAN)の設立(2002.7.15)
- 設立目的（インシデント情報共有・分析センター規約より）
  - センタは、情報セキュリティの確保を図る上で情報通信事業者による取り組みが極めて重要であることを鑑み、わが国の情報通信業界における情報セキュリティ対策の充実を図るため、情報通信事業者を中心として会員を募り、インシデント情報を収集・分析し会員に提供するとともに、会員の情報セキュリティ対策に資するその他の事業を行うことにより、わが国の情報セキュリティの向上を促し、もって、わが国における高度情報通信ネットワーク社会の形成に寄与することを目的とする。
- 重要インフラ部門における官民連携のあり方のひとつ

Telecom-ISAC Japanの活動概要イメージ